

CDP気候変動2021 回答に向けて（詳細版）

C11 カーボンプライシング

2021ウェビナー
CDP事務局

本ウェビナーについて



- ▼ CDP回答ガイダンス、スコアリング基準、スコアリングイントロダクション等の内容に沿って説明しています。これらの情報は、ウェブサイトに掲載しています。
- ▼ スコアリングの詳細についてもご紹介していますが、スコアリングの基本については、スコアリングイントロダクションの文書やウェビナーをまずご覧ください。
- ▼ 本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

CDP気候変動質問書および回答ガイダンス2021 ([リンク](#))

CDP気候変動質問書スコアリング基準2021 ([リンク](#))

※右上の「言語/language」ボタンより言語を変更いただけます。

回答の際の注意点



- ▼ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。
⇒外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等はスコアリングには反映されません。

NG回答例

- 「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www ~~~>）をご覧ください」
- 「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼ 無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - **Please explain（説明してください）**や**Description（～の説明）**は必ず記入してください。
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。
- ▼ 回答は提出時の御社の状況ではなく、C0.2の報告年の時点でどうであったかでご記載ください。自社にとって重要な意思決定や取り組み事例について、報告年よりも以前のことであったとしても、報告年の戦略や方針に関係のあるものであればご記載いただけます。その際、その報告年以前の取組の結果、報告年時点ではどのような状況になっているのかの進捗もご記載いただくことでよりよい情報開示となります。

回答の際の注意点

(文章記述欄：自社固有／ケーススタディ／事例)



▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的影響、定量的なデータ、自社の具体的な（いつ、どこで、どれくらいの規模で）取り組み、固有の製品／サービス等について、**自社のみに当てはまる内容**を記述してください。自社固有の説明は、一般論として回答しているのではなく、回答企業が環境関連の問題を自社のビジネスの文脈の中で十分に検討していることや、実際にアクションを起こしていることを示すために有用です。

▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「**Situation-Task-Action-Result (STAR)**」アプローチに沿った記載を含めてください。

- 1) 状況 (**Situation**) : 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (**Task**) : 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (**Action**) : 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (**Result**) : 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

ケーススタディの中には、**できるだけ多くの自社に固有の (Company-specific) 情報、具体的な時間(いつ)と場所の情報(どこで)**を含めてください。

▼ 事例 (Example) の記載

上記の**STAR**アプローチに沿った記述は必要ありません。ケーススタディよりも簡潔に記載でき、いくつか自社固有の情報が含まれていれば望ましいと言えます。

セクター別質問書

- ▼ 気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されています。セクター別の質問は、質問番号に各セクターを示すアルファベットが付記されています。
- ▼ セクター別のスコアリング基準が設定されており、セクターの特徴に沿ったスコアリングが実施されます。
- ▼ どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター（CDPのセクター分類に基づく）に属しているかによって決まります。（該当するセクター別質問は、各プログラム共通です。）
- ▼ セクター別質問に該当しない場合、[一般]セクター質問書に回答いただきます。

農業	エネルギー	金融	素材	輸送
<ul style="list-style-type: none">農産品(AC)食料・飲料・タバコ(FB)製紙・林業(PF)	<ul style="list-style-type: none">石炭(CO)電力(EU)石油・ガス(OG)	<ul style="list-style-type: none">金融サービス(FS)	<ul style="list-style-type: none">セメント(CE)資本財(CG)化学(CH)建設(CN)金属・鉱業(MM)不動産(RE)鉄鋼(ST)	<ul style="list-style-type: none">輸送サービス(TS)輸送機器製造(TO)

注：本ウェビナーではセクター別質問の詳細については割愛しています。

ウェブサイト上の回答ガイダンスやスコアリング基準のページからセクター固有の情報をご確認ください。

C11 カーボンプライシング／Carbon pricing

C11.1

御社の事業や活動はカーボン プライシング システム（ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税）によって規制されていますか。

C11.1で[はい]

C11.1で[3年以内に対象と想定]

C11.1で[3年以内に対象と想定していない]

C11.1a

御社の操業に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。

C11.1aで排出量取引を選択

C11.1aで炭素税を選択

C11.1b

規制を受ける排出量取引制度ごとに、以下の表を記入します。

C11.1c

規制を受ける排出量取引制度ごとに、以下の表を記入します。

C11.1d

規制を受けている、あるいは規制を受けると見込んでいる制度に準拠するための戦略はどのようなものですか？

C11.2

御社は報告対象期間内にプロジェクトベースの排出権を創出または購入しましたか。

C11.2で[はい]

C11.2で[いいえ]

C11.2a

報告対象期間内に御社が創出または購入したプロジェクトベースの炭素クレジットの詳細を記入します。

C11 カーボンプライシング／Carbon pricing

C11.3 御社は社内カーボンプライス(炭素価格)を使用していますか。

C11.3で[はい]

C11.3で[はい]以外

C11.3a 御社が社内カーボンプライスを使う方法の詳細を記入してください。

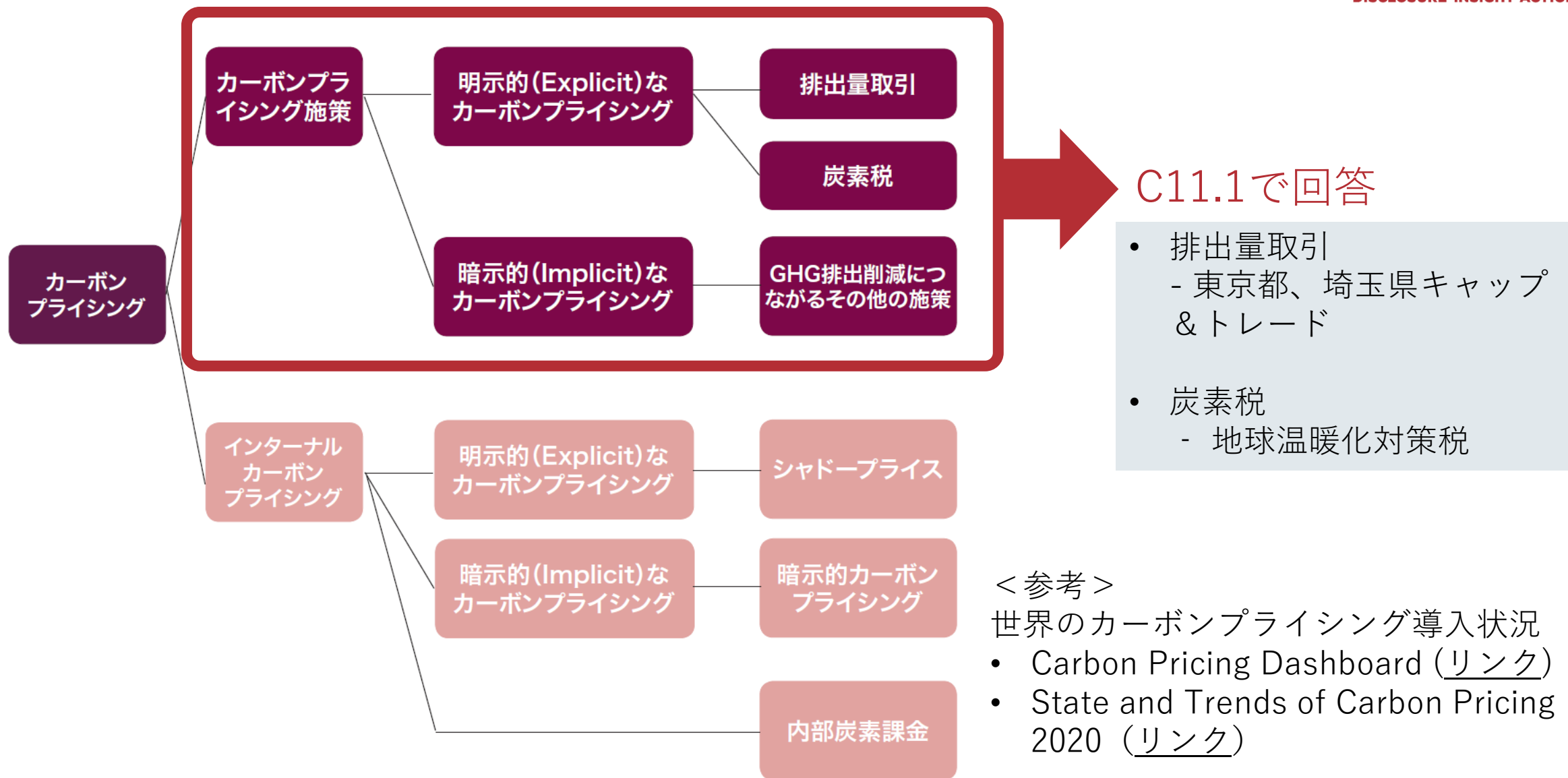
モジュール終了

C11.1 御社の事業や活動はカーボン プライシング システム（ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税）によって規制されていますか。



- 規制の対象である ⇒ [Yes] を選択 ⇒ C11.1a-d
- 現在規制の対象ではないが、3年以内に規制されると見込んでいる
⇒ [No, but we anticipate being regulated in the next three years] を選択 ⇒ C11.1d
- 現在規制の対象ではなく、3年以内にも規制されるとは見込んでいない
⇒ [No, and we do not anticipate being regulated in the next three years] を選択

カーボンプライシングの種類





C11.1a 御社の操業に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。

※C11.1で [Yes] を選択

- Alberta Carbon Competitive Incentive Regulation (CCIR) – ETS
- Argentina carbon tax
- Australia ERF Safeguard Mechanism - ETS
- BC carbon tax
- BC GGIRCA - ETS
- Beijing pilot ETS
- California CaT – ETS
- Canada federal fuel charge
- Canada federal Output Based Pricing System (OBPS) - ETS
- Chile carbon tax
- China national ETS
- Chongqing pilot ETS
- Colombia carbon tax
- Denmark carbon tax
- Estonia carbon tax
- EU ETS
- Finland carbon tax
- France carbon tax
- Fujian pilot ETS
- Guangdong pilot ETS
- Hubei pilot ETS
- Iceland carbon tax
- Ireland carbon tax
- **Japan carbon tax**
- Kazakhstan ETS
- Korea ETS
- Latvia carbon tax
- Liechtenstein carbon tax
- Massachusetts state ETS

地球温暖化対策税

- Mexico carbon tax
- New Zealand ETS
- Newfoundland and Labrador PSS - ETS
- Nova Scotia CaT - ETS
- Norway carbon tax
- Newfoundland and Labrador carbon tax
- Poland carbon tax
- Portugal carbon tax
- Prince Edward Island carbon tax
- Québec CaT - ETS
- RGGI - ETS
- **Saitama ETS**
- Saskatchewan OBPS - ETS
- Shanghai pilot ETS
- Shenzhen pilot ETS
- Singapore carbon tax
- Slovenia carbon tax
- South Africa carbon tax
- Spain carbon tax
- Sweden carbon tax
- Switzerland carbon tax
- Switzerland ETS
- Tianjin pilot ETS
- **Tokyo CaT - ETS**
- UK carbon price floor
- Ukraine carbon tax
- Washington CAR - ETS
- Other carbon tax, please specify
- Other ETS, please specify

埼玉県キャップ&トレード

東京都キャップ&トレード

C11.1b 規制を受ける排出量取引制度ごとに、以下の表を記入します。

※C11.1で [Yes] を選択し、C11.1aで排出量取引を選択



System name	% of Scope 1 emissions covered by the ETS	% of Scope 2 emissions covered by the ETS	Period start date	Period end date
Fixed table rows are populated by selection in C11.1a	Numerical field [enter a number from 0-100 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-100 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Enter the start date that applies to the data in the row. Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY. Please note that the period reported should overlap with the reporting year.	Enter the finish date that applies to the data in the row. Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY. Please note that the period reported should overlap with the reporting year.

報告年と重なる期間があるものを回答してください。

Aレベル

Allowances allocated	Allowances purchased	Verified Scope 1 emissions in metric tons CO ₂ e	Verified Scope 2 emissions in metric tons CO ₂ e	Details of ownership	Comment
Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Select from: <ul style="list-style-type: none"> Facilities we own and operate Facilities we own but do not operate Facilities we operate but do not own Other, please specify 	Text field [maximum characters]

C11.1c 規制を受ける炭素税ごとに、以下の表を記入します。

※C11.1で [Yes] を選択し、C11.1aで炭素税を選択

Aレベル

Tax system	Period start date	Period end date	% of total Scope 1 emissions covered by tax	Total cost of tax paid	Comment
<i>Fixed table rows are populated by selection in C11.1a</i>	Enter the start date that applies to the data in the row. Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY. Please note that the period reported should overlap with the reporting year.	Enter the finish date that applies to the data in the row. Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY. Please note that the period reported should overlap with the reporting year.	Numerical field [enter a number from 0-100 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Text field [maximum 255 characters]

報告年と重なる期間があるものを回答してください。



C11.1d 規制を受けている、あるいは規制を受けると見込んでいる制度に準拠するための戦略はどのようなものですか。

※C11.1で [Yes] または [No, but we anticipate being regulated in the next three years] を選択

既にカーボンプライシング制度によって規制されている

まだカーボンプライシング制度に規制されていないが、今後3年以内に規制されると見込んでいる

11.1で[Yes]を選択

Aレベル

- 参加する制度に準拠するための戦略の詳細

Mレベル

- 御社の戦略をどのように適用しているかを示す **ケーススタディ**

11.1で[No, but we anticipate being regulated in the next three years]を選択

- 参加することを見込んでいる制度に準拠するための御社の戦略の詳細と、今後3年以内に規制されると見込んでいる時期の特定

Aレベル Mレベル

- ケーススタディを書く際は、ポイントはスライドP4を参照してください
- どのような戦略をもっているのが、その戦略に関して実際に行った具体的な事例を回答に含めてください。

C11.1 スコアリング基準

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
11.1	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0
11.1a	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0
11.1b ※11.1で Yes, 排出量取引	[対象スコープ1の割合]- 1点 [対象スコープ2の割合]- 1点 [開始日]と[終了日]- 1点 [割り当て排出枠]- 1点 [購入排出枠]- 1点 [検証されたスコープ1]- 1点 [検証されたスコープ2]- 1点 [所有権の詳細]- 1点		8	1行のすべての欄に記載		1		0	0		0	0
11.1c ※11.1で Yes, 炭素税	[開始日]と[終了日]- 1点 [税の対象とされるスコープ1総排出量の割合]- 1点 [支払った税金の総費用]- 1点		3	1行のすべての欄に記載		1		0	0		0	0
11.1d ※11.1で Yes/3年以内に規制対象	回答を記述		1	A)11.1aで[はい] 参加する制度に準拠するための戦略の詳細-1点 B)11.1aで[3年以内に対象] 参加することを見込んでいる制度に準拠するための御社の戦略の詳細と、今後3年以内に規制されると見込んでいる時期の特定-1点		1	A)11.1aで[はい] 戦略をどのように適用しているかを示すケーススタディ-1点 B)11.1aで[3年以内に対象]-1点		1		0	0

C11.2 御社は報告対象期間内にプロジェクトベースの排出権（炭素クレジット）を創出または購入しましたか。

- 排出権を創出または購入した⇒[Yes]を選択 ⇒C11.2a
- 排出権を創出または購入していない⇒[No]を選択

【排出権を購入した場合】

- 法令順守の目的のため、あるいは自主的なカーボンオフセットのために購入した場合、[Yes]を選択してください。
- 排出権を再販するために購入した場合は、[No]を選択してください。

C11.2a 報告対象期間内に御社が創出または購入したプロジェクトベースの炭素クレジットの詳細を記入します。

※C11.2で [Yes] を選択

クレジット創出またはクレジット購入	プロジェクト種別	プロジェクト名	認証基準名
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> クレジット創出 クレジット購入 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 農業 バイオマスエネルギー セメント CO₂使用量 	文章記入欄[最大2,400文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> CDM(クリーンな開発の制度) JI(共同実施) Gold Standard VCS(検証済み炭素基準)

クレジット量(CO ₂ 換算トン)	クレジット量(CO ₂ 換算トン):リスク調整後量	使用済みクレジット	目的(例:コンプライアンス)
数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、コンマなしで0~99,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、コンマなしで0~99,999,999,999の数字を入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 関連性がない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 自発的なオフセット 該当なし その他、具体的にお答えください

クレジットはプロジェクトライフサイクルの様々な段階で販売されることから、予想されるクレジット量は、プロジェクトのセクターや段階などによって、様々な基準で調整されます。年間に創出または購入しているクレジットのうち、実現を待っているものについての年間クレジット量をいれてください。その量は、リスクの度合いによってリスク調整済みの数値としてください。クレジット構成の中に、リスク要因がない場合、リスク調整済み量は、クレジット量と同じ値になります。

Mレベル

C7.9aのMレベルが満点、かつC6.1とC6.3でスコープ1, 2を回答している



C11.2 スコアリング基準

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
11.2	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0
11.2a	各列に対してそれぞれ1点		8		0	0	C7.9aでマネジメント ポイントが満点、かつ、 C6.1とC6.3でスコープ 1およびスコープ2両方 の排出量を報告		1		0	0
※11.2で Yes							[目的...]欄で、[自主的 オフセット] または[規 制遵守]を選択－1点					

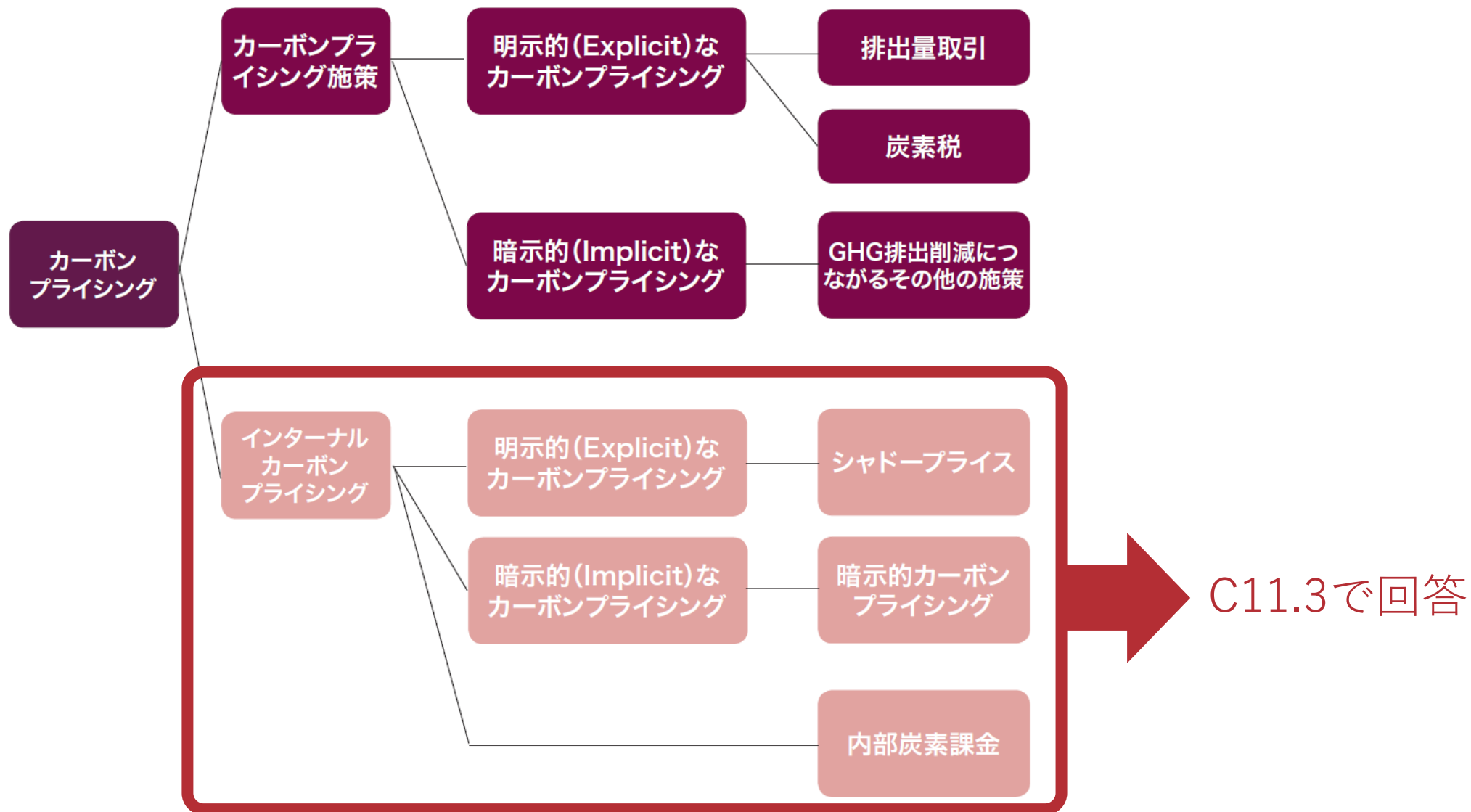
C11.3 御社は社内カーボンプライス(炭素価格)を使用していますか。



- 使用している⇒[Yes]を選択 ⇒C11.3a Mレベル Aレベル
- 現在使用していないが、2年以内に導入予定
⇒[No, but we anticipate doing so in the next two years]を選択
- 現在使用しておらず、2年以内にも導入予定なし
⇒[No, and we don't anticipate doing so in the next two years]を選択

社内（インターナル）カーボンプライシングは、政府により規制として導入されるカーボンプライシングではなく、企業が自社の意思決定に影響を与えるために、自発的に社内で適用するカーボンプライシングのことです。

カーボンプライシングの種類



社内カーボンプライシングの種類



- シャドウプライス /Shadow price 割り当てられた仮定の炭素価格です。これは、操業やサプライチェーンのどこにリスクと機会が存在するのかを明らかにし、将来の資本投資についての戦略的意思決定を支援します。
- 暗示的カーボンプライシング /Implicit carbon price 周辺情報から導き出される炭素価格です。例えば排出削減に価格費用や再エネ調達費用を（見込みの）CO2削減量で割ることで炭素価格を算出するケースがあります。数学的に導き出された価格を適用することで、気候関連目標を達成するために必要となる資本投資の規模を定量的に把握できます。
- 内部炭素課金 /Internal fee 排出に責任のある事業部から実際に費用を徴収するものです。多くの場合、その収入をクリーン技術や企業の低炭素に向けた操業・投資に活用します。
- 内部炭素取引 /Internal trading 企業に部門に排出枠割当て、各部門はそれぞれの排出量に応じて、必要に応じて部門間で排出権を取引/売買します。
- オフセット /Offsets 炭素市場にて自主的に排出権を購入し、自社による排出分を相殺します。

社内カーボンプライシングを活用することで、
炭素関連のリスクを評価および管理したり、炭素関連の機会を特定することで、ビジネスモデルの低炭素化に役立てることができます。

C11.3a 御社が社内カーボンプライスを使う方法の詳細を記入してください。

※C11.3で [Yes] を選択

実施目的	GHG Scope	適用	価格(tCO2当たり)	価格の変化	価格のタイプ	影響・関連事項
Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Navigate GHG regulations Stakeholder expectations Change internal behavior Drive energy efficiency Drive low-carbon investment Stress test investments Identify and seize low-carbon opportunities Supplier engagement Other, please specify 	Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Scope 1 Scope 2 Scope 3 	Corporate structure that price is applied to (i.e. business units, corporate divisions, facilities) Text field [maximum 1,000 characters]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters] Aレベル	Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Shadow price Internal fee Internal trading Implicit price Offsets Other, please specify 	Text field [maximum 2,400 characters] Mレベル

- GHG規制への対応
- ステークホルダーの期待
- 社内行動の変革
- エネルギー効率の推進
- 低炭素投資の推進
- ストレステスト投資
- 低炭素機会の特定と活用
- サプライヤーとのエンゲージメント
- その他、具体的にお答えください

自社で導入している社内カーボンプライシングが、こういった意思決定（設備投資、研究開発、報酬、サプライや選定等）に適用されているのか、またどの程度の影響力を持っているのか（参考情報なのか重要指標なのか等）をご記載ください。

適用価格の変化の有無についてご記載ください。

- 単一価格(Uniform pricing):** 地理、事業部門、または決定の種類に関係なく、会社全体を通じて適用される単一の価格
- 差異化された価格(Differentiated pricing):** 地域、事業部門、または決定の種類ごとに異なる価格
- 固定価格(Static pricing):** 経時的に一定している価格
- 漸進的価格(Evolutionary pricing):** 中期計画と長期計画で別の価格の使用するといった経時的に変動する価格

C11.3a 御社が社内カーボンプライスを使う方法の詳細を記入してください。

※C11.3で [Yes] を選択

実施目的	GHG Scope	適用	価格(tCO2当たり)	価格の変化	価格のタイプ	影響・関連事項
Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Navigate GHG regulations Stakeholder expectations Change internal behavior Drive energy efficiency Drive low-carbon investment Stress test investments Identify and seize low-carbon opportunities Supplier engagement Other, please specify 	Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Scope 1 Scope 2 Scope 3 	Corporate structure that price is applied to (i.e. business units, corporate divisions, facilities) Text field [maximum 1,000 characters]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters] Aレベル	Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> Shadow price Internal fee Internal trading Implicit price Offsets Other, please specify 	Text field [maximum 2,400 characters] Mレベル

どのように社内カーボンプライシングを活用しているか **自社固有の説明**

ご回答いただく際に、以下のような事項をご検討いただくとよいと思います。

- 社内インターナルカーボンプライシングを適用することで、どういったことが分かったのか（定量的な計算、分析結果 等）
- その気づきによって何件くらいの/どのような意思決定に繋がったのか（採用が決定した低炭素設備投資の実例 等）
- その意思決定によってそういった効果があったのか/あると見込んでいるのか（どれくらい再エネ使用量が増えたのか、どれくらいの排出を削減できたのか 等）



C11.3 スコアリング基準

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
11.3	いずれかの選択肢を選択している		1	[はい]または[2年以内に導入予定]を選択-1点		1	[はい]を選択-1点		1		0	0
11.3a	各列に対してそれぞれ1点		7	[価格の種類]で[オフセット]以外を選択-1点		1	<u>認識スコアが満点</u> [影響...]で、社内カーボンプライスをどのように利用しているかについての自社固有の説明を記載-1点		1		0	0
※11.3で Yes												



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



一般的なお問合せ : japan@cdp.net

サプライチェーンに関するお問合せ : supplychain.japan@cdp.net

レポーターサービスに関するお問合せ : reporterservices.japan@cdp.net